

平成29年度

事業計画書

平成29年 4月 1日から

平成30年 3月31日まで

公益財団法人筑紫野市文化振興財団

## 平成29年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業計画書

### I. 基本方針

公益財団法人筑紫野市文化振興財団は、定款に「文化施設の管理運営を効率的かつ円滑に行い、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与すること」を目的に掲げ、その実現に向けて取り組んでいる。

特に、平成29年度は市民組織が企画した「演劇づくりと講演会」事業を、当財団の提案により本市で共同開催することになった。文化事業を学校教育の現場で展開するための第一歩と位置づけて取り組む。これらは基本協定書に定めるところの文化芸術の振興に関する事業として実施する。

また、財団の運営にあたっては、将来にわたって継続的に公益財団法人としての使命を果たすため、人材育成の強化を図っていく。

#### 定款に定める事業（第4条関係）

1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業
2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### II. 事業内容

#### 1. 市民の文化・芸術の振興に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

##### ①公演事業の実施について

定款に則り、市民の文化的生活の向上及び地域文化の振興に寄与する事業等を行う。

#### 平成29年度のテーマ 『 響き 輝く 』

～ 一人ひとりの輝きが広がり、響き合う ～

- (1) 文化芸術活動をとおして、幅広い世代の市民の個性を輝かせる事業を行う。

文化芸術との出会いの場となる17事業を実施する。これらの事業をとおして、鑑賞する楽しさや表現する喜び、“共感”“共鳴”“自尊感情の高揚”などを幅広い世代に体験してもらう。これらの個性的で豊かな情感が人々の

日々の生活に潤いと活力を生み、引いては地域コミュニティの創造を担う市民の育成に寄与する。

- (2) 「演劇づくり」をとおして、多様な価値観を持つ者同士によるグループワークが「コミュニケーション能力」の育成に有用である、という新機軸を提案する。

“演劇”を教材にした「コミュニケーション能力」の育成過程を本市の文化・教育行政等の関係者に見てもらい、次代を担う青少年の資質向上のための方策として“演劇”を提案する。具体的には、市民組織の企画・主催による「演劇づくり」事業を当財団が共催で取り組む。講師には、劇作家・演出家の平田オリザ氏を迎え、平田氏が開発し小・中学校の国語教科書に採用されている演劇教育プログラムを当会館で実施する。この事業をとおして、文化行政と学校教育行政の連携の契機とする。

## ②定期情報誌の発行及びホームページの運営

当財団の活動、事業の広報・周知をするため情報誌「トピック」を隔月刊で43,000部発行し、市内全世帯に無料配布するとともに市内各施設（図書館、生涯学習センター及び各コミュニティセンターなど）にも送付する。

また、ホームページで施設の紹介や利用案内、催し物案内などを行い、市民への周知と利用者の増加に努める。

## 2. 文化の拠点となる施設の整備及び管理運営に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

### ①筑紫野市文化会館の管理運営について

- (1) 施設の使用の許可及び使用料の収受に関すること

筑紫野市文化会館の利用承認等業務及び使用料の収納業務を的確に行うとともに、利用率向上のため、利用者には適切・積極的なサービスに努める。

また、施設の貸与については、条例に基づき公益目的で利用する場合は優先的に貸与する。

- (2) 施設及び附属設備の維持管理に関すること

利用者や入館者が安全で安心して快適に利用できるよう、施設全般の適正な維持管理に努める。

(3) 災害等に備えて防火避難訓練等の実施

災害等に備えて、消防用設備保守点検及び防火避難訓練を行う。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1号第3項関係）

①文化施設の貸与事業

公益目的以外でも施設使用の要望があるため、条例に基づき物販利用などは利用料を4倍に設定するなど、公益目的と差を付けて施設貸与を行う。

②物品販売等に関する事業

施設利用者等が物品販売等を行う際に、販売手数料を徴収する。

4. その他

財団職員の知識、技術の向上を図るため、講座、説明会及び研修会に参加し、研鑽に努める。

## 別 表

## 平成29年度公演事業月別年間事業計画表

(定款第4条第1項第1号関係)

月	事業名	事業種別	会場	概要	企画書
29年 5、 10	あなたもピアニスト!	その他	大・多目的ホール	グランドピアノの弾き込みの為、コンクール等の出演をめざす人を対象に練習機会を提供。	6
7	音楽の楽しみ方講座 スペシャルライブ 野田愛子&イグナツ・リシュツキ デュオリサイタル	鑑賞型 教養講座型	大ホール	本市出身のシカゴ交響楽団ヴァイオリニスト。出演者が楽曲の解説や魅力を語る。	14
7~9	【新規事業】 平田オリザさんと演劇をつくる 「演劇づくり&舞台発表」と講演会 (仮称)	参加創造型	大・多目的ホール	ふくおか教育を考える会協議会が企画・主催し、当財団、市教育委員会の共催。演劇づくりを通してコミュニケーションやプレゼンを学ぶ。	9
8	第十一回ちくしの寄席 立川生志“ふるさと応援”落語会	鑑賞型	生涯学習センター さんあいホール	本市に縁の落語家等による日本の伝統芸能・話芸を披露。	3
9	ちくしの ミュージック フェスタ DA・N・KA・I (仮称)	参加創造型	大ホール	実行委員会と共催。“団塊世代”の音楽グループによる発表と交流。今年度から、若い世代も出演できる体制に改編する。	15
10	陸上自衛隊第4音楽隊 ふれあいコンサート in 筑紫野	鑑賞型	大ホール	18年度より陸・海・空の音楽隊を招聘。	2
	生涯学習フェスティバル関連事業 第13回ハーモニーフェスタ in ちくしの	参加創造型	大ホール	幼児から高齢者までの市内の合唱グループとゲストによる発表と交流。	5
12	第32回名曲コンサート	鑑賞型	大ホール	九州交響楽団員を中心としたアンサンブル福岡による、年末恒例のクラシックコンサート。	1
30年 2	NHK全国放送公開番組 「ラジオ深夜便のつどい」	その他	大ホール	NHK福岡放送局、筑紫野市、当財団の共催。ラジオ第1 FM で放送している「ラジオ深夜便」の公開収録。	8
3	ちくしのプラスフェスタ Vol. 2	育成支援型	大ホール	市内中学校、高等学校、社会人の9団体による吹奏楽の発表と交流。 「メセナちくしの“吹奏楽祭”」継承事業	10
	夢野久作と杉山3代研究会 第6回研究大会	教養講座型	生涯学習センター	23年度に開催した「つくし紫」文化塾『杉山家5代と筑紫野』の継承事業。	11
通年	文化活動団体支援事業	育成支援型	—	筑紫野市ちくしの少年少女合唱団、筑紫野市文化協会、(特)ちくしの子ども劇場、筑紫野市吹奏楽団、ちくしの混声合唱団の活動を支援する。	12
	文化活動ボランティア育成事業 サポーターズバンク	育成支援型	—	公演事業の運営等を支援する人材の育成。	13
未定	著名人による公演 海援隊トーク&ライブ(調整中)	鑑賞型	大ホール	日本のフォークソングシーンで活躍する福岡出身のグループの公演。	4
	市民企画公募事業 プロデューサーズ 2017	育成支援型	未定	市民の企画・制作イベントを公募する。発表の機会を提供し、市民の文化活動を支援する。	7
筑紫地区	ちくし地区の少年少女合唱団による 第14回少年少女合唱団 ジョイントコンサート	育成支援型	春日市	筑紫地区公立文化施設研究協議会共同事業。 筑紫地区で活動する5合唱団による発表と交流。	16
	つくし☆おとなり さ・ん・ぽ スタンプラリー	その他	—	筑紫地区公立文化施設研究協議会共同事業。 筑紫地区の文化施設を巡るスタンプラリー。 各施設が取り組む事業への興味関心を高める。	17